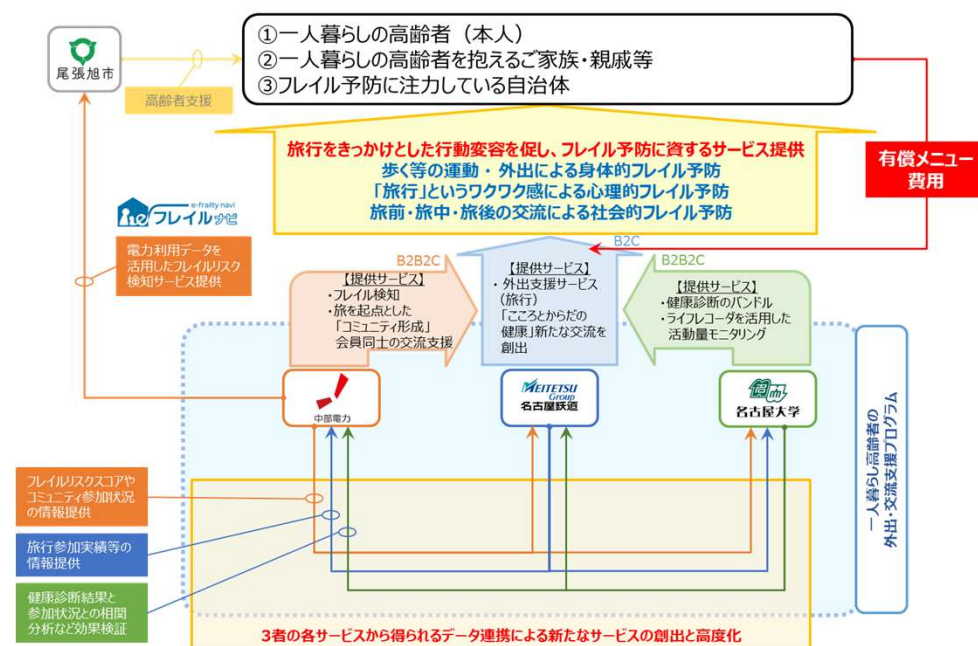


(事業者名)名古屋鉄道株式会社・中部電力株式会社 (事業名) 一人暮らし 高齢者向け外出交流支援

社会実装時の事業モデル

- 24年度検証結果もふまえ「旅行を基軸にしたフレイル課題解決」をテーマとした新たな価値創造に挑戦
- ※お金の流れについては**赤色矢印**を参照



今年度の実証について

24年度の実証で得た以下の知見を元に実証範囲を拡大する

- ① 名古屋大学との共同研究による「旅行参加の健康効果」
…無気力感の予防・軽減に寄与する可能性の示唆あり
- ② 有料化に対する参加者のポジティブな反応
…アンケートに対して会費制でも参加したいと40%の会員が回答。
その他回答を合わせ、75%の会員が対価支払いの可能性を示唆
- ③ 会員の旅行参加と掛け合わせた健康データの取得
…「eフレイルナビ」導入と「測定会」の実施により、旅行参加実績と組み合わせた高度なフレイルリスクデータを取得。

【検証項目】

- ① 事業性の検証（一部有償化）
「健康状態の維持改善をコンセプトとした旅行商品」として一部有償化しPMF実証を実施
- ② 独居高齢者がより参加しやすい旅行商品の検討
- ③ 新たな事業内容の追加・検証
…独居高齢者の健康状態の維持と孤独感の解消を目的に、旅行を軸とした付随サービス構築とその事業可能性を検証。
・「日常生活におけるコミュニティ形成」:
交流支援や旅行に役立つ講座等の開催により、参加者の孤独感の解消と旅行体験を向上させる
・「高度なフレイルリスクデータの活用」:
フレイルリスクデータを旅行やコミュニティ活動への参加実績と組み合わせさらに高度化。
自治体の介入への活用及び他サービスへの送客への活用を検証